

令和2年2月10日

一般社団法人中部経済連合会 会員企業ご担当者様

内閣府地方創生推進事務局

「スーパー・メガリージョンの形成に対する期待等」に関する
アンケート調査へのご協力をお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より都市再生の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成30年4月の都市再生本部にて、「都市再生に取り組む基本的考え方」が見直され、リニア中央新幹線等の整備効果の全国への波及や都市の国際競争力向上などによる世界最先端の都市再生の推進が決定されました。内閣府地方創生推進事務局では、リニア中央新幹線により出現する7000万人規模の巨大都市圏である「スーパー・メガリージョン」の集積効果を最大限に引き出し、我が国全体の経済活力を向上させるため、関連する都市再生プロジェクトを「スーパー・メガリージョン関連プロジェクト」として組成・推進することで、今後の民間都市開発事業等のさらなる喚起、ひいては国際競争力の強化につなげてまいります。

これらを踏まえ、この度、民間事業者等に対し、スーパー・メガリージョンの形成に対する期待等に関する調査を行うこととなりました。つきましては、別添のスーパー・メガリージョン構想の概要に関する資料をお読みいただいた上で、貴社のスーパー・メガリージョンの形成に対する期待等についてお聞かせください。

なお、本アンケート調査の結果に基づき、内閣府地方創生推進事務局では関係省庁と連携し、スーパー・メガリージョン形成に伴う都市再生に関して、民間事業者等に対する支援方策など、今後の政策策定に向けた検討に活用させていただきます。

(備考)

本アンケート調査の結果について、外部へ個別の回答内容を公表することはありません。また結果のとりまとめについては、業種や業態ごとにとりまとめるなど、企業が特定されることのないよう工夫した形式にいたしますので、何卒ご協力いただくよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

- 調査対象者：一般社団法人日本経済団体連合会会員企業様、一般社団法人中部経済連合会会員企業様、公益社団法人関西経済連合会会員企業様、東京商工会議所会員企業様
- 提出物：「スーパー・メガリージョンの形成に対する期待等」に関するアンケート調査・調査票
(Excel ファイル)
- 提出先：株式会社アルテップ（調査受託者、E-mail：teishutsu@artep.co.jp）
- 回答期限：**令和2年3月4日（水）必着**
- 回答方法：
 - ・本調査依頼に添付されている調査票のExcelファイルに直接回答を入力し、ファイル名に貴社名を記入したものを、電子メールにて提出してください。
 - ・中部経済連合会様におかれましては、お手数ですが、会員企業様への配信をお願いいたします。

【調査主体・調査内容に関する問合せ先】

内閣府地方創生推進事務局（担当：植村、三國）
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-39
永田町合同庁舎8F
TEL：03-6206-6174
E-mail：toshisaisei@cao.go.jp

【提出先・調査票に関する問合せ先】

株式会社アルテップ（調査受託者）（担当：三村、柴田）
〒107-0052 東京都港区赤坂8-10-39 赤坂KSAビル2F
TEL：03-6804-2883（平日（月～金）10～18時）
FAX：03-3478-1081
E-mail：teishutsu@artep.co.jp ←提出先

別添 スーパー・メガリージョン構想の概要

■リニア中央新幹線の概要



	品川・名古屋間※1	東京・大阪間※2
路線延長 (km)	286	438
所要時分 (分)	40	67
建設費 (億円)	55,235.5	90,300
JR東海の 想定開業年次	2027年(平成39年)	2045年(平成57年) より最大8年間前倒し※3

※1 中央新幹線品川・名古屋間工事実施計画(その1)(H26.10.17認可)による
 ※2 中央新幹線(東京都・大阪間)調査報告書(H21.12.24)による
 ※3 財政投融资の活用による
 ※4 JR東海資料による(リニア各駅停車の場合、停車時間を除く。)

<中央新幹線の整備計画>

建設線	中央新幹線	
区間	東京都・大阪市	
走行方式	超電導磁気浮上方式	
最高設計速度	505キロメートル/時	
建設に要する費用の概算額(車両費を含む。)	90,300億円	
その他必要な事項	主要な経過地	甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、奈良市附近

(注) 建設に要する費用の概算額には、利子を含まない。

【※輸送需要量】

- 現状(2005年)
東海道新幹線: 442億人キロ/年
↓
- リニア開業後(2045年): 661億人キロ/年
〔リニア中央新幹線: 408億人キロ/年〕
〔東海道新幹線: 254億人キロ/年〕

(注) 交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会中央新幹線小委員会答申による

■リニア中央新幹線がもたらすインパクト

リニア中央新幹線がもたらすインパクト

(1) フェイス・トゥ・フェイスコミュニケーションが生み出す新たなイノベーション

- ・ イノベーション創出による生産性向上が不可欠となっており、フェイス・トゥ・フェイスコミュニケーションを通じた予定調和なき対流の重要性が高まる
- ・ **リニア開通により、交流機会が増加、交流時間が拡大し、新たなイノベーションを生み出す**

(2) 時間と場所からの解放による新たなビジネススタイル・ライフスタイル

- ・ **リニア開通による時間と場所からの解放が、暮らしに多様な選択肢をもたらす**
- 〔
 - ・ 男女問わず労働参画し、子育てとも両立しやすい環境
 - ・ 高齢者の社会参画により、豊富な知恵や経験が様々な地域の価値創造に寄与
 - ・ 二地域居住等、都市と地方にまたがる全く新しいビジネススタイル・ライフスタイルの誕生

(3) 海外からの人や投資の積極的な呼び込み

- ・ **リニア開通による三大都市圏の一体化によって、海外からの魅力を向上**
- ・ 高速交通ネットワークとリンクし、訪日外国人旅行者の地方への誘客を更に促進

(4) 災害リスクへの対応

- ・ **リニアと新幹線・高速道路ネットワークが有機的につながり、多重性、代替性を強化**
- ・ 東京に集中する人口及び企業の中核機能等の分散や、首都機能をはじめとする中核管理機能のバックアップ体制の整備に寄与する可能性

■スーパー・メガリージョン構想

スーパー・メガリージョン構想の目指す方向性

①新たな価値を生み出すために

- ・知的対流を創出・強化し、国内外の多様な対流を活発化
- ・全国各地の個性を結びつけ、価値創造を図る

②持続可能な社会を形成するために

- ・新たなビジネススタイル・ライフスタイルを見据え、様々な社会システムを転換
- ・各地域の個性や多様性を重視する価値観の下で、地域の魅力を強化

③グローバルマーケットで羽ばたくために

- ・国内マーケットだけでなく海外マーケットで評価される新たな産業・サービスを創出
- ・グローバル人材の育成に加え、国内制度や商慣行等の「内なる国際化」を推進

個性ある三大都市圏の一体化による巨大経済圏の創造

中間駅周辺地域から始まる新たな地方創生

- ・三大都市圏に加え、地方経済のコアとなる都市圏が、自らの個性やアジアとの近接性等を活かして、世界に直結し、成長の拠点に

- ・世界からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込み、売り出していく流れ

スーパー・メガリージョンの効果の広域的拡大

個性ある三大都市圏の一体化による巨大経済圏の創造

◆首都圏

- ・複数の国際ビジネス拠点を中心に、グローバルな経済都市として強化
- ・情報通信・広告・金融分野等の強みを活かし、全国の商品の価値を磨き世界に発信することで、地方創生と国際競争力向上の相乗効果を発揮

◆中部圏

- ・三大都市圏の中心に位置し、全国最大の交流圏を形成
- ・多様なものづくり産業と、AI、IoT等、デジタル技術分野との融合により、生産性向上と高付加価値化を実現する産業の革新・創造拠点に発展

◆関西圏

- ・医療・ライフサイエンス分野の強化等により、アジアと共に進化する国際ハブ都市圏として発展
- ・圏域間のアクセス向上や広域連携の強化により、西日本全体の対流を促進

- ✓ 新たな国際ビジネスを生み出すため、起業家、スタートアップ企業、大学、投資家等がオープンな環境で協働できる、近接性と集積を重視した**イノベーションディストリクトを形成**し、高密度な知的対流を創出
- ✓ リニア駅の**乗換利便性、高速道路との直結性、空港アクセスの向上、都市再生**等により集積効果を最大限に引き出す
- ✓ 三大都市圏間の**新幹線・高速道路ネットワーク整備による大動脈の多重化**とともに、**まちづくりが進められる段階から圏域を越えた連携体制**を強化

中間駅周辺地域から始まる新たな地方創生

- ◆ 多様な人材が活発に行き交い、クリエイティブな交流が生まれる、新しい知的対流拠点に発展
- ◆ 都市と地方にまたがる新たなビジネススタイル・ライフスタイルを可能とする、新たな居住の選択肢を提供
- ◆ Society5.0の革新的技術と豊かな自然環境が融合した、独自性と先進性の高い地域に発展する可能性

- ✓ **地域の強みを活かした産業を育成**し、**圏域を越えた産業クラスター同士の連携強化**等により、新世代の新たな産業へと発展
- ✓ **自然豊かな居住環境、多様なツーリズム、社会参画のプラットフォーム**等の形成により、地域独自のライフスタイルを提供
- ✓ **地域内の主体的取組と地域外の人材の知見を融合**すべく、各地域の魅力を大切にす価値観をもつ**関係人口を拡大**
- ✓ リニアによる**東西方向の連携軸**に加え、各駅から**南北方向に伸びる高速道路との連結性を強化**し、対流を活発化

スーパー・メガリージョンの効果の広域的拡大

- ✓ 全国各地の個性を結び付けるため、**広域連携により圏域を越えた人的ネットワークを拡大**し、リニア駅を核とした**広域的な新幹線・高速道路ネットワークの形成**により対流を活発化
- ✓ **三大都市圏の空港が相互補完的に機能**することや、**東京・大阪間の輸送ニーズの転換による新たな航空需要**への対応、**東海道新幹線沿線地域の利便性向上**等の効果も期待
- ✓ リニア沿線以外の**中枢・中核都市**も、自ら世界に直結し**スーパー・メガリージョンとの相乗効果を発揮する持続可能な成長の拠点**に

※国土交通省「スーパー・メガリージョン構想検討会 最終とりまとめ」より引用